

在セネガル日本国大使館月報

2018年9月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 13日、サル大統領は、全国14州の各州にそれぞれの地域で選挙キャンペーンを統括する責任者を任命することを決定した。ティエス州にはジェン社会党党首、カオラック州にはニヤス国民議会議長が責任者に任命された。
- 16日、ウスマン・ソンコ PASTEF 党首・国民議会議員は、ダカール・オベリスク広場において、2019年2月の大統領選に向け自らのビジョンに関する著作「Solutions」の発表式典を行った。44歳(1974年生)で、SNS やメディアを利用した今後の同党首の政治活動に注目が集まる。
- 21日、初代サンゴール大統領時代から40年間にわたり大統領府儀典長を務めたブルーノ・ジャッタ氏(69)が逝去し、27日に大統領府にて政府主催追悼式が行われた。
- 29日、ダカール市議会は、ハリファ・サル・ダカール市長の後任として、ソハム・ワルディニ第一助役を選出した。女性がダカール市長に任命されたのは1857年の同市創設以降史上初。

(外政)

- 3日及び4日、北京にて開催された FOCAC 会合において、セネガルは南アフリカから引き継ぎ、中国と並び FOCAC 共同議長国に選出された。2021年の FOCAC 会合はセネガルにて開催される。
- 29日、カバ外相は国連総会一般討論演説を行い、2019年国連人権理事会の議長国を務めることに意欲を示した。

カーボヴェルデ

- FOCAC 首脳会合で発言したコレイア首相は、「一帯一路」イニシアティブ、北京行動計画と「8大行動」、習近平国家主席により表明された600億ドルに上る支援を高く評価している旨述べた。同首相は、習近平国家主席及び韓正副総理と会談した。

ガンビア

- FOCAC に出席したバロウ大統領と習近平国家主席との会談の際、インフラ整備、経済・技術協力、文化、農業の近代化及び人材協力における協力文書が署名された。

ギニアビサウ

- 5日、FOCAC に出席したヴァス大統領は、習近平国家主席と会談し、「一帯一路」に積極的に参加していきたい旨述べた。

セネガル

(内政)

内政一般

- 12日、閣議が開催され、サル大統領は、教員組合との合意を遵守し、全国で新学期が順調に進むよう必要な措置を取るよう要請した(13日 Le Soleil)。
- 19日、ファル法相は、石油法の法案が10月に国民議会で審議・採決される旨述べつつ、石油ガス開発による収益は最大限の透明性が確保される旨述べた。(21日 Le Soleil)。
- 19日、サル大統領は閣議において、ジョラ号沈没事故の犠牲者追悼施設建設の完了を急ぐよう指示した。(21日 Le Soleil)。(注「ジョラ号」:ダカール・カザマンズ間を航行していたセネガル政府所有のフェリー。2002年9月26日にガンビア沖で沈没し2千人以上が死亡(定員(600人程度)オーバーが事故原因の一つとされる。)
- 21日、初代サンゴール大統領時代から40年間にわたり大統領府儀典長を務めたブルーノ・ジャッタ氏(69)が逝去し、サル大統領はマリ大統領就任式出席を急きょ取り止めた(21日 RTS 他)。27日に政府主催追悼式が大統領府にて行われ、同儀典長逝去に対し国内外要人から多数の哀悼メッセージが寄せられた(22日~28日各紙)。
- 28日、サル大統領は、シェーク・ティディアン・サル大使(大統領府儀典次長)を新たな大統領府儀典長に任命した(29・30日 LeSoleil)。
- 29日、ダカール市議会は、ハリファ・サル・ダカール市長の後任として、ソハム・ワルディニ第一助役を選出した。女性がダカール市長に任命されたのは1857年の同市創設以降史上初(1日 LeSoleil)。

2019年大統領選挙関連

- 4日、野党側は、ダカール州知事がデモの許可を出さない中、カリム・ワッド元大臣やハリファ・サル元ダカール市長の2019年大統領選挙出馬を求め内務省前に向けデモ行進した。内務省への道は警察により封鎖されており、一部は投石を行ったが警察は催涙弾を使用し沈静した。野党幹部が、一時警察により拘束された(5日 Le Soleil)。
- 13日、サル大統領は、全国14州の各州にそれぞれの地域で選挙キャンペーンを統括する責任者を任命し、ティエス州にはジェン社会党党首、カオラック州にはニヤス国民議会議長が責任者に任命された(14日 Le Quotidien)。
- 16日、ウスマン・ソンコ PASTEF 党(労働・倫理・博愛のためのセネガル愛国党)党首・国民議会議員は、ダカール・オベリスク広場において、2019年2月の大統領選に向け自らのビジョンに関する著作「Solutions」の発表式典を行った。44歳(1974年生)で、SNS やメディアを利用した今後の同党首の政治活動に注目が集まる(19・20日 L'Observateur)。
- 26日、アブドゥライ・ワッド元大統領・セネガル民主党(PDS)党首の側近マディケ・ニャン元外相は、カリム・ワッド元大臣の大統領選立候補の道が法的に絶たれたことに伴い、同党の今後の戦略等について協議するため、同元大統領が滞在するカタール・ドーハを訪問した(27日 Le Temoin)。訪問後、ニャン元外相は、PDSを離れ独自の陣営から大統領選に出馬する見通しを明らかにした(30日 Le Temoin)。
- 27日、パプ・ジョップ元国民議会上院議長、元ダカール市長(民主主義結集党(Convergence Démocratique)党首)は、2019年大統領選挙出馬を表明し、自身が当選した場合の任期は1期5年限りと宣言した(28日 WalfQuotidien)。

- 29日、アブドゥル・ンバイ元首相(ACT, 市民労働同盟党首)は、2019年大統領選挙出馬を表明し、自身が当選した場合は閣僚数を25人以下とするなど、行政、経済、社会面の改革を行う旨述べた(1日 Le Soleil)。

治安関連・社会動静関連

- 6日、米国国務省対テロ支援の一環としてティエスに建設された対テロ養成センター竣工式が開催された。同センターは、セネガル及び西アフリカ諸国のテロ対策担当治安要員の養成を目的とする(7日 SudQuotidien)。
- 7日、新しく就任したシ国家警察総局長は、市民と警察の関係向上、警察の展開拡充、活動効率の強化等の課題に対処していく旨述べた(8日 Le Soleil)。
- ファティク州においてデング熱の発生が確認された。28日時点の感染者数は14人。(29日 Le Quotidien)。

(外政)

国際会議等

- 3日及び4日、北京にて開催されたFOCAC会合において、セネガルは南アフリカから引き継ぎ、中国と並びFOCACの共同議長国に選出された。2021年のFOCAC会合はセネガルにて開催される(5日 Le Soleil)。
- 5日、サル大統領は、FOCAC共同議長国として、杭州市にて開催された中国・アフリカ民間セクター首脳会合を主催した。同会合は、中国とアフリカの間の経済交流を促進することを目的としている。(6日 Le Soleil)。
- 29日、カバ外相は国連総会一般討論演説を行い、2019年国連人権理事会の議長国を務めることに意欲を示した(10月1日 LeSoleil)。

日本関連

- 新井日本大使着任インタビュー「日本は、技術移転とアフリカの人材育成を強化する用意がある。」(19日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 6日、セネガル企業運動(Meds)年次総会に出席したジョヌ首相は、ダカール・バマコ鉄道の改修等の計画事業を紹介し、セネガル新興計画(PSE)第2フェーズにおけるセネガル民間セクターからの資金動員を呼びかけた(7日 Le Soleil)。
- 11日、NECの子会社NEC XONとセネガル企業 La Colombe 社が協力して建設したサイバーセキュリティセンターの開所式が開催され、ンジャイ内務大臣等が出席した。同センターは、サイバーセキュリティの研究を行う(14日 Le Soleil)。
- 13日、ジョヌ首相は、セネガル沖での石油・ガス開発は、安価な電力供給を可能にし、競争力を高め、雇用を創出し、セネガルの経済発展に貢献しなければならない旨述べた(14日 Le Soleil)。
- 24日から28日、バ経済財政計画大臣を代表団長とするセネガル代表団は、ワシントンDCにてミレニアム・チャレンジ公社(MCC)第2次フェーズに関し米国当局と協議し基本合意に達した。2018年年末までに署

名される見込み(1日 LeSoleil)。

インフラ関連

- 10日、ティエス・トゥーバ間高速道路(Ila Touba)を視察したディアロ運輸大臣は、片側2車線で全長113kmの同高速道路を10月末のマガルまでに開通できる見込みであると述べた。工事の90%は完了している(11日 Le Soleil)。
- 18日、ダカール都市交通執行理事会は、ダカールの交通改善のため、2019年第一4半期までに18.3kmの高速バス・システムを導入すると発表した。事業費は3000億CFAFのうち、世銀が1840億CFAF、欧州投資銀行が520億CFAF、セネガル政府が150億CFAFを出資する(19日 Le Soleil)。
- 24日、ファイ水利・衛生大臣、ムリッド教団スポークスマン出席の下、トゥーバにおける下水網整備の起工式が行われた。続く25日、ジヨム首相、ファイ水利・衛生大臣等出席の下、カオラックにおいて下水網整備の起工式が行われた。(25日、26日 Le Soleil)。

カーボヴェルデ

- FOCAC 首脳会合で発言したコレイア首相は、「一帯一路」イニシアティブ、北京行動計画と「8大行動」、習近平国家主席により表明された600億ドルに上る支援を高く評価している旨述べた。同首相は、習近平国家主席及び韓正副総理と会談した(6日 Anacao)。
- 4日、タヴァルシュ外相と王毅外相との間でカーボヴェルデの「一帯一路」参入に関する合意が署名された。カーボヴェルデ政府は、同イニシアティブの枠組みで、サン・ヴィセント島の海洋経済特区創設、「Safe City」事業、プライア会議センターの建設につき協議している(6日 Anacao)。
- 6日、駐カーボヴェルデ米国大使は、カーボヴェルデとの地位協定によって、米軍基地を同国に配置する意図はなく、同協定は、海上不法取引対策等海洋安全保障の向上に寄与し、西アフリカと米軍の協力関係を向上させるものである旨述べた(6日 Inforpress)。

ガンビア

- FOCAC に出席したバロウ大統領と習近平国家主席との会談の際、インフラ整備、経済・技術協力、文化、農業の近代化及び人材協力における協力文書が署名された(11日 The Point)。
- ガンビア石油委員会は、オーストリア企業FARとマレーシア国営企業ペトロナスが、ガンビア沖の石油ブロック Samo での石油調査のため、2018年の第4四半期に採掘を開始すると明かした(6日 The Point)。
- 10日、ブレア元英首相は、大統領府にてバロウ大統領と面会し、Tony Blair Institute for Global Change は、専門家の派遣等を通じて国家開発計画への支援を継続していきたい旨述べた(12日 The Point)。
- 12日、バロウ大統領の特使としてサウジアラビアを訪問中のタンガラ外務大臣は、サルマン国王と会談し、同国王はガンビアとの関係を強化したい意向を示した。2018年中に、在ガンビア総領事が開館し、その後大使館に格上げされる予定(14日 The Point)。

ギニアビサウ

- 55日、FOCAC に出席したヴァス大統領は、習近平国家主席と会談し、「一帯一路」に積極的に参加していきたい旨述べた(6日 Bambaramdipadida)。
- 10日、駐ギニアビサウ・インド大使は、ギニアビサウに対し1,000トンの米を供与した旨発表した。右供与は、

度重なる洪水や干ばつによる被害を軽減するために行われたものである(11日 Lusa)。

(注) 本月報は、セネガル・カーボヴェルデ・ガンビア・ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)